



コンフィギュレーションパーティショニング

コンフィギュレーションパーティショニング機能によって実行コンフィギュレーション状態をモジュール化（「パーティショニング」）して、Cisco IOS ソフトウェアで実行コンフィギュレーションに柔軟にアクセスできるようにします。

この機能が搭載された Cisco IOS ソフトウェア イメージではデフォルトでオンになっています。

デバイスのコンフィギュレーション状態は、**show running-config** コマンドがユーザによって実行されるとダイナミックに取得されます。コンフィギュレーションパーティショニング機能がイネーブルの場合、システムによってデバイスのコンフィギュレーション状態が分割され、グループ化（「パーティション」と呼ばれる）されます。これにより、実行コンフィギュレーションで表示されるコマンドリストの生成時にユーザが確認したいコンフィギュレーション状態のみを取得できます。この機能により、システムのコンフィギュレーション状態全体が処理される従来の処理方法とは異なり、実行コンフィギュレーション コマンドのリストの生成時に実行コンフィギュレーション状態の一部のみが処理されるため、コンフィギュレーションが複雑なハイエンドシステムのパフォーマンスを向上できます。

デフォルトのコンフィギュレーションパーティションはこの機能を導入することで提供されます。将来のリリースでは、他の Cisco IOS ソフト機能によって独自のコマンドパーティションが提供される可能性があります。

この章で紹介する機能情報の入手方法

この機能は、Cisco 7600 シリーズ向けソフトウェア イメージのリリース 12.2(33)SRB で追加されました。その他のリリース統合アップデートは、「[コンフィギュレーションパーティショニングの機能情報](#)」(P.19) に随時追加されます。

プラットフォームと Cisco IOS および Catalyst OS ソフトウェア イメージのサポート情報の検索

Cisco Feature Navigator を使用すると、プラットフォーム、Cisco IOS ソフトウェア イメージ、および Cisco Catalyst OS ソフトウェア イメージの各サポート情報を検索できます。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> からアクセスします。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

目次

- 「[コンフィギュレーションパーティショニングについて](#)」 (P.2)
- 「[コンフィギュレーションパーティショニング機能を使用するには](#)」 (P.3)
- 「[コンフィギュレーションパーティショニングするためのコンフィギュレーション例](#)」 (P.6)



- 「その他の参考資料」(P.17)
- 「コマンドリファレンス」(P.18)
- 「コンフィギュレーションパーティショニングの機能情報」(P.19)

コンフィギュレーションパーティショニングについて

コンフィギュレーションパーティショニング機能を使用するには、次の概念を理解しておく必要があります。

- 「システム実行コンフィギュレーション」
- 「実行コンフィギュレーションを取得して表示またはコピーする」
- 「実行コンフィギュレーションをパーティショニングする利点」

システム実行コンフィギュレーション

Cisco IOS ソフトウェアベース デバイスのコンフィギュレーション管理には、不揮発性メモリに格納されたスタートアップコンフィギュレーション (startup-config) およびシステムに適用されているすべてのコンフィギュレーション オプションである実行コンフィギュレーション (running-config) を管理する必要があります。通常、スタートアップコンフィギュレーションファイルはシステム起動時にロードされ、コマンドラインインターフェイスを使用して適用されたシステムに対する実行コンフィギュレーションの変更は、実行コンフィギュレーションをコンフィギュレーションファイルにコピーすることで保存されます (ローカルまたはネットワーク上)。ファイルは、起動時にデバイスをコンフィギュレーションする場合、または他のデバイスをコンフィギュレーションする場合に使用されます。

実行コンフィギュレーションを取得して表示またはコピーする

Cisco IOS のソフトウェア コンフィギュレーション モデルでは、コンフィギュレーション状態は分散して維持され、各コンポーネントは独自のコンフィギュレーション状態を保持します。グローバルコンフィギュレーション情報を取得するには、ソフトウェアは各コンポーネントをポーリングして、分散された情報を収集する必要があります。このコンフィギュレーション状態の取得処理は **Nonvolatile Generation (NVGEN; 不揮発性生成)** として知られる処理によって実行され、現在のコンフィギュレーション状態を表示するコマンドの **show running-config** や、実行コンフィギュレーションをファイルにコピーして保存するコマンドの **copy system:running-configuration** によって呼び出されます。取得処理が呼び出されると、NVGEN 処理によって各システム コンポーネント、各インターフェイス インスタンス、およびその他すべてのコンフィギュレーションされたコンポーネント オブジェクトが標準の順序でクエリーされます。NVGEN がこれらのクエリーを実行しているシステムを通過するとき、実行コンフィギュレーションファイルが作成されます。表示およびコピーには作成された「仮想ファイル」が使用されます。

実行コンフィギュレーションをパーティショニングする利点

コンフィギュレーションパーティショニング機能は、Cisco IOS ソフトウェアに追加された一連のコンフィギュレーション生成のパフォーマンス拡張機能の最新機能です (関連機能については、「[関連マニュアル](#)」(P.17) を参照してください)。この機能によって、**show running-config** コマンドの実行時に表示したいシステム コンポーネントのみがクエリーされるため、システム応答時間が短縮されます。

コンフィギュレーション パーティショニング機能がイネーブルの場合、システムによってデバイスのコンフィギュレーション状態が分割されグループ化（「パーティション」と呼ばれる）されます。これにより、仮想実行コンフィギュレーション ファイル（コンフィギュレーション コマンドのリスト）が生成されます。新しいコマンド、**show running-config partition** を使用すると、一度に実行コンフィギュレーションをすべて表示したり、特定のストリングに一致する行のみを表示するのではなく、検証したい実行コンフィギュレーションの部分のみを表示することができます。

この機能は、ユーザが表示したいシステム コンポーネントのグループ（特定のインターフェイスなど）のみの NVGEN 処理をシステムで実行してシステムのパフォーマンスを向上できることが主な利点であると言えます。この特徴は、システム コンポーネントをすべて処理した後に生成されたリストをフィルタする **show running-config** コマンドのその他の拡張とは対照的です。

実行コンフィギュレーションを部分的に生成するため、システムのコンフィギュレーション状態を選択的に処理することを「コンフィギュレーション パーティショニング」と呼びます。

コンフィギュレーション情報に柔軟にアクセスできることで、サイズの大きいコンフィギュレーション ファイルがあるハイエンドなルーティング プラットフォームにパフォーマンスの重大な利点をもたらし、同時に詳細なコンフィギュレーション機能を細かに実装することでコンフィギュレーション管理を強化します。詳細なコンフィギュレーション オプションには、Cisco IOS ソフトウェアのカスタマーサービスのプロビジョニング、コンフィギュレーション ロールバック、コンフィギュレーション ロッキング、およびコンフィギュレーション アクセス コントロールのサポートが含まれます。

コンフィギュレーション パーティショニング機能を使用するには

ここでは、次の作業について説明します。

- 「コンフィギュレーション パーティションの表示」(P.3) (任意)
- 「コンフィギュレーション パーティショニング機能をディセーブルにする」(P.5) (任意)

コンフィギュレーション パーティションの表示

この機能を活用するには、主に特権 EXEC モードで **show running-config partition part** コマンドを使用します。このコマンドは、**show running-config** コマンド専用の拡張です。



(注)

partition part コマンドの拡張は、**more:system running-config** コマンドでは利用できません。

この機能は既存のコマンドのパフォーマンスを向上するので、この機能が搭載された Cisco IOS ソフトウェア イメージではデフォルトでオンになっています。お使いのシステムでサポートおよび実行されているかどうかを簡単に判断するには、特権 EXEC モードで **show running-config partition ?** コマンドを実行します。

手順の概要

1. **show running-config partition ?**
2. **show runningconfig partition part**

手順の詳細

ステップ 1 show running-config partition ?

このコマンドを実行すると、システムに表示できる実行コンフィギュレーションの部分が表示されます。コンフィギュレーションパーティショニング機能がシステムでサポートされており、イネーブルの場合は、ヘルプ出力の1行目に「config partition is TRUE」というストリングが表示されます。

ここに示すコマンド構文を入力するとエラーメッセージが表示される場合は、この機能はシステムでサポートされていません。実行コンフィギュレーションの部分のみを表示できる他のリリースで利用可能な **show running-config** コマンドの既存の拡張については、コマンドのマニュアルを参照してください。



(注)

利用できるコンフィギュレーションの部分は、ソフトウェアイメージによって異なり、コンフィギュレーションされている機能に依存します。

```
Router# show running-config partition ?
config partition is TRUE
access-list      All access-list configurations
boot             All boot configurations
class-map       All class-map configurations
common          All remaining unregistered configurations
global-cdp      All global cdp configurations
interface       All Interface specific Configurations
ip-as-path      All IP as-path configurations
ip-community    All IP community list configurations
ip-domain-list  All ip domain list configurations
ip-prefix-list  All ip prefix-list configurations
ip-static-routes All IP static configurations
line            All line mode configurations
policy-map      All policy-map configurations
route-map       All route-map configurations
router          All routing configurations
snmp            All SNMP configurations
tacacs         All TACACS configurations
```

表示する実行コンフィギュレーションの部分を選択して、ステップ 2 で関連キーワードを *part* 引数として使用します。

ステップ 2 show running-config partition part

たとえば、システムで NVGEN 処理を実行コンフィギュレーション状態の **access-list** 部分に関連するコンポーネントのみで実行して、**access-list** に関連するコンポーネントのみを表示する場合は、**show running-config partition access-list** コマンドを入力します。

```
Router# show running-config partition access-list
Building configuration...

Current configuration : 127 bytes
!
Configuration of Partition access-list
!
!
!
access-list 90 permit 0.0.0.0 1.2.3.5
access-list 100 permit 10 any
!
end
```

**(注)**

このコマンドを使用すると、NVGEN 処理を実行して、特定のインターフェイスに関する結果出力を表示します。複数のインターフェイスがアクティブなシステムで使用できる設計のこの動作がコンフィギュレーション パーティショニング機能の主な役割です。

次の例では、メインのコンフィギュレーション パーティションはインターフェイス コンフィギュレーションです。生成される特定のコンフィギュレーション部分は、ファストイーサネットインターフェイス 0/0 のコンフィギュレーションです。

```
Router# show running-config partition interface fastethernet0/0  
Building configuration...
```

```
Current configuration : 213 bytes  
!  
Configuration of Partition interface FastEthernet0/0  
!  
!  
interface FastEthernet0/0  
  ip address 10.4.2.39 255.255.255.0  
  no ip route-cache cef  
  no ip route-cache  
  duplex half  
  ipv6 enable  
  no cdp enable  
!  
!  
end
```

コンフィギュレーション パーティショニング機能をディセーブルにする

この機能は既存のコマンドのパフォーマンスを向上させるので、この機能が搭載された Cisco IOS ソフトウェア イメージではデフォルトでオンになっています。しかし、この機能は少量のシステム リソース（メモリおよび CPU）を消費するため不要な場合、ディセーブルにしたい場合があります。コンフィギュレーション パーティショニングをディセーブルにするには、次の手順を実行してください。手順はユーザ EXEC モードで起動されていることを前提としています。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **no parser config partition**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	<code>enable</code> 例： Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ2	<code>configure terminal</code> 例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ3	<code>no parser config partition</code> 例： Router(config)# no parser config partition Disabling config partitioning Router(config)#	コンフィギュレーション パーティショニング機能をディセーブルにします。

次の作業

機能をディセーブルにした後、イネーブルにするには、グローバル コンフィギュレーション モードで `parser config partition` コマンドを使用します。



(注)

この機能はデフォルトでイネーブルになっているので、実行コンフィギュレーション ファイルには、`no` 形式のみが表示されます。または、`copy running-config startup-config` コマンドを実行するとスタートアップ コンフィギュレーション ファイルに書き込まれます。

コンフィギュレーション パーティショニングするためのコンフィギュレーション例

ここでは、`show running-config partition` コマンドを使用してコンフィギュレーション パーティションを表示する例を示します。

- 「コンフィギュレーション パーティションの表示：例」

コンフィギュレーション パーティションの表示：例

この例では、管理者が特定のインターフェイスの状態、およびシステムの他のコンポーネントの一部のコンフィギュレーションを確認するために実行する一連の手順で `show running-config partition` と関連コマンドを一緒に使用しています。標準の `show running-config` コマンド（例：`show running-config | include access-list`）による、同等のフィルタされた出力もデモとして含まれます。



(注)

`part` 引数には `show running-config part router eigrp 1` のように複数のパーティション名キーワードを含めることができます。

```
gt3-7200-3# show running-config partition ?
access-list      All access-list configurations
boot             All boot configurations
class-map        All class-map configurations
global-cdp       All global cdp configurations
interface        All Interface specific Configurations
ip-as-path       All IP as-path configurations
ip-community     All IP community list configurations
ip-domain-list   All ip domain list configurations
ip-static-routes All IP static configurations
line             All line mode configurations
policy-map       All policy-map configurations
route-map        All route-map configurations
router           All routing configurations
service          All service configurations
snmp             All SNMP configurations
```

```
gt3-7200-3# show running-config partition access-list
Building configuration...
```

```
Current configuration : 87 bytes
!
!
!
!
access-list 90 permit 0.0.0.0 1.2.3.5
access-list 100 permit 10 any any
!
end
```

```
gt3-7200-3# show running-config | include access-list
access-list 90 permit 0.0.0.0 1.2.3.5
access-list 100 permit 10 any any
gt3-7200-3#
```

```
gt3-7200-3# show running-config partition boot
Building configuration...
```

```
Current configuration : 51 bytes
!
boot network tftp://service_config.txt
!
!
!
end
```

```
gt3-7200-3# show running-config partition class-map
Building configuration...
```

```
Current configuration : 78 bytes
!
!
!
class-map match-all abc
  match any
class-map match-all xyz
!
!
!
end
```

```
gt3-7200-3# show running-config | begin class-map
class-map match-all abc
  match any
```

```

class-map match-all xyz
!
!

gt3-7200-3# show running-config partition global-cdp
Building configuration...

Current configuration : 43 bytes
!
!
!
cdp timer 20
cdp holdtime 100
!
end

gt3-7200-3# show running-config | include global-cdp
cdp timer 20
cdp holdtime 100
gt3-7200-3#

gt3-7200-3# show ip interface brief
Interface                IP-Address      OK? Method Status      Protocol
FastEthernet0/0          unassigned      YES NVRAM   administratively down  down
Ethernet2/0              10.4.2.32       YES NVRAM   up          up
Ethernet2/1              unassigned      YES NVRAM   administratively down  down
Ethernet2/2              unassigned      YES NVRAM   administratively down  down
Ethernet2/3              unassigned      YES NVRAM   administratively down  down
Serial3/0                 unassigned      YES NVRAM   administratively down  down
Serial3/1                 unassigned      YES NVRAM   administratively down  down
Serial3/2                 unassigned      YES NVRAM   administratively down  down
Serial3/3                 unassigned      YES NVRAM   administratively down  down
Loopback0                 unassigned      YES NVRAM   administratively down  down
Loopback234              unassigned      YES NVRAM   administratively down  down

gt3-7200-3# show running-config partition interface fastethernet0/0
Building configuration...

Current configuration : 98 bytes
!
!
!
interface FastEthernet0/0
 no ip address
 no ip route-cache
 shutdown
 duplex half
!
!
end

gt3-7200-3# show running-config partition interface ethernet2/0
Building configuration...

Current configuration : 122 bytes
!
!
!
interface Ethernet2/0
 ip address 10.4.2.32 255.255.255.0
 no ip proxy-arp
 no ip route-cache
 duplex half
!

```



```
!  
end  
  
gt3-7200-3# show running-config partition interface ethernet2/1  
Building configuration...  
  
Current configuration : 94 bytes  
!  
!  
!  
interface Ethernet2/1  
  no ip address  
  no ip route-cache  
  shutdown  
  duplex half  
!  
!  
end  
  
gt3-7200-3# show running-config partition interface ethernet2/2  
Building configuration...  
  
Current configuration : 94 bytes  
!  
!  
!  
interface Ethernet2/2  
  no ip address  
  no ip route-cache  
  shutdown  
  duplex half  
!  
!  
end  
  
gt3-7200-3# show running-config partition interface ethernet2/3  
Building configuration...  
  
Current configuration : 94 bytes  
!  
!  
!  
interface Ethernet2/3  
  no ip address  
  no ip route-cache  
  shutdown  
  duplex half  
!  
!  
end  
  
gt3-7200-3# show running-config partition interface serial3/0  
Building configuration...  
  
Current configuration : 103 bytes  
!  
!  
!  
interface Serial3/0  
  no ip address  
  no ip route-cache  
  shutdown  
  serial restart-delay 0  
!  
!
```

```

!
end

gt3-7200-3# show running-config partition interface serial3/1
Building configuration...

Current configuration : 103 bytes
!
!
!
interface Serial3/1
  no ip address
  no ip route-cache
  shutdown
  serial restart-delay 0
!
!
end

gt3-7200-3# show running-config partition interface serial3/2
Building configuration...

Current configuration : 103 bytes
!
!
!
interface Serial3/2
  no ip address
  no ip route-cache
  shutdown
  serial restart-delay 0
!
!
end

gt3-7200-3# show running-config partition interface serial3/3
Building configuration...

Current configuration : 103 bytes
!
!
!
interface Serial3/3
  no ip address
  no ip route-cache
  shutdown
  serial restart-delay 0
!
!
end

gt3-7200-3# show running-config partition interface loopback0
Building configuration...

Current configuration : 79 bytes
!
!
!
interface Loopback0
  no ip address
  no ip route-cache
  shutdown
!
!

```

```
end

gt3-7200-3# show running-config partition interface loopback1
                                     ^
% Invalid input detected at '^' marker.

gt3-7200-3# show running-config partition interface loopback234
Building configuration...

Current configuration : 81 bytes
!
!
!
interface Loopback234
  no ip address
  no ip route-cache
  shutdown
!
!
end

gt3-7200-3# configure terminal
Enter configuration commands, one per line.  End with CNTL/Z.
gt3-7200-3(config)# interface ethernet 2/0.1
gt3-7200-3(config-subif)# exit
gt3-7200-3(config)# exit

gt3-7200-3#
00:13:05: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by console
gt3-7200-3# show running-config partition interface ethernet2/0.1
Building configuration...

Current configuration : 58 bytes
!
!
!
interface Ethernet2/0.1
  no ip route-cache
!
!
end
gt3-7200-3# show run partition ip?
ip-as-path ip-community ip-domain-list ip-static-routes

gt3-7200-3#sh run part ip-as
gt3-7200-3#sh run part ip-as-path

Building configuration...

Current configuration : 125 bytes
!
!
!
ip as-path access-list 2 permit $ABC
ip as-path access-list 2 permit $xyz*
ip as-path access-list 2 permit qwe*
!
end
gt3-7200-3# show running-config partition ip-community
Building configuration...

Current configuration : 92 bytes
!
!
```

```

!
ip community-list standard asd permit
ip community-list expanded qwe deny uio*
!
end

gt3-7200-3# show running-config | include ip community
ip community-list standard asd permit
ip community-list expanded qwe deny uio*
gt3-7200-3#
gt3-7200-3# show running-config partition ip-domain-list
Building configuration...

Current configuration : 70 bytes
!
ip domain-list iop
ip domain-list tyu
ip domain-list jkl
!
!
!
end
gt3-7200-3# show running-config partition ip-static-routes
Building configuration...

Current configuration : 98 bytes
!
!
!
ip route 0.0.0.0 0.0.0.0 Ethernet2/0
ip route 171.69.1.129 255.255.255.255 10.4.29.1
!
end

gt3-7200-3# show running-config partition line
Building configuration...

Current configuration : 489 bytes
!
!
!
!
line con 0
  exec-timeout 0 0
  transport output lat pad v120 mop telnet rlogin udptn nasi
  stopbits 1
line aux 0
  transport output lat pad v120 mop telnet rlogin udptn nasi
  stopbits 1
line vty 0
  password lab
  login
  transport input lat pad v120 mop telnet rlogin udptn nasi
  transport output lat pad v120 mop telnet rlogin udptn nasi
line vty 1 4
  login
  transport input lat pad v120 mop telnet rlogin udptn nasi
  transport output lat pad v120 mop telnet rlogin udptn nasi
!
end
gt3-7200-3# show running-config partition policy-map
Building configuration...

Current configuration : 162 bytes

```

```
!
!
!
policy-map qwer
  description policy-map qwer.
  class xyz
    shape peak 8000 32 32
policy-map p1
policy-map sdf
  class abc
    set precedence 4
!
!
!
end
gt3-7200-3# show running-config partition route-map
Building configuration...

Current configuration : 65 bytes
!
!
!
route-map iop permit 10
!
route-map rty permit 10
!
!
end
gt3-7200-3#sh run part router bgp 1
Building configuration...

Current configuration : 111 bytes
!
!
!
router bgp 1
  no synchronization
  bgp log-neighbor-changes
  distance bgp 2 2 2
  no auto-summary
!
!
end

gt3-7200-3#sh run part router egp ?
<0-65535> Remote autonomous system number

gt3-7200-3#sh run part router egp 1
Building configuration...

Current configuration : 46 bytes
!
!
!
router egp 1
  timers egp 20 20
!
!
end

gt3-7200-3# show running-config partition router ?
bgp      Border Gateway Protocol (BGP)
egp      Exterior Gateway Protocol (EGP)
eigrp    Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP)
```

```

isis      ISO IS-IS
iso-igrp  IGRP for OSI networks
mobile    Mobile routes
odr       On Demand stub Routes
ospf     Open Shortest Path First (OSPF)
rip      Routing Information Protocol (RIP)

gt3-7200-3# show running-config partition router eigrp ?
<1-65535> Autonomous system number

gt3-7200-3# show running-config partition router eigrp 1
Building configuration...

Current configuration : 13 bytes
!
!
!
!
end

gt3-7200-3#
gt3-7200-3# sh run part router eigrp 2
Building configuration...

Current configuration : 57 bytes
!
!
!
router eigrp 2
 variance 10
 auto-summary
!
!
end

gt3-7200-3# show running-config partition router ?
bgp      Border Gateway Protocol (BGP)
egp      Exterior Gateway Protocol (EGP)
eigrp    Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP)
isis     ISO IS-IS
iso-igrp IGRP for OSI networks
mobile   Mobile routes
odr      On Demand stub Routes
ospf    Open Shortest Path First (OSPF)
rip     Routing Information Protocol (RIP)

gt3-7200-3# show running-config partition router isis ?
WORD    ISO routing area tag
|       Output modifiers
<cr>

gt3-7200-3# show running-config partition router isis qwe
Building configuration...

Current configuration : 86 bytes
!
!
!
router isis qwe
 set-attached-bit route-map qwer
 use external-metrics
!
!
end

```

```
gt3-7200-3# show running-config partition router isis ?
WORD ISO routing area tag
| Output modifiers
<cr>

gt3-7200-3# show running-config partition router iso
gt3-7200-3# show running-config partition router iso-igrp ?
WORD ISO routing area tag
| Output modifiers
<cr>

gt3-7200-3# show running-config partition router iso-igrp
Building configuration...

Current configuration : 31 bytes
!
!
!
router iso-igrp
!
!
end

gt3-7200-3# show running-config | begin iso
router iso-igrp
!
router isis qwe
 set-attached-bit route-map qwer
 use external-metrics
!
router egp 1
 timers egp 20 20
!
router bgp 1
 no synchronization
 bgp log-neighbor-changes
 distance bgp 2 2 2
 no auto-summary
!

gt3-7200-3# show running-config partition router ?
bgp Border Gateway Protocol (BGP)
egp Exterior Gateway Protocol (EGP)
eigrp Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP)
isis ISO IS-IS
iso-igrp IGRP for OSI networks
mobile Mobile routes
odr On Demand stub Routes
ospf Open Shortest Path First (OSPF)
rip Routing Information Protocol (RIP)

gt3-7200-3# show running-config partition router mobile ?
| Output modifiers
<cr>

gt3-7200-3# show running-config partition router mobile
Building configuration...

Current configuration : 42 bytes
!
!
!
```

```
router mobile
  distance 20
!
!
end
```

```
gt3-7200-3# sh run | include router
router mobile
router odr
router eigrp 2
router ospf 4
router iso-igrp
router isis qwe
router egp 1
router bgp 1
```

```
gt3-7200-3# show running-config partition router ?
  bgp      Border Gateway Protocol (BGP)
  egp      Exterior Gateway Protocol (EGP)
  eigrp    Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP)
  isis     ISO IS-IS
  iso-igrp IGRP for OSI networks
  mobile   Mobile routes
  odr      On Demand stub Routes
  ospf     Open Shortest Path First (OSPF)
  rip      Routing Information Protocol (RIP)
```

```
gt3-7200-3# show running-config partition router ospf ?
<1-65535> Process ID
```

```
gt3-7200-3# show running-config partition router ospf 4
Building configuration...
```

```
Current configuration : 64 bytes
!
!
!
router ospf 4
  log-adjacency-changes
  distance 4
!
!
end
```

```
gt3-7200-3# sh run part service
Building configuration...
```

```
Current configuration : 190 bytes
!
no service pad
service timestamps debug uptime
service timestamps log uptime
no service password-encryption
service internal
service udp-small-servers
service tcp-small-servers
!
!
!
end
```

```
gt3-7200-3# sh run part snmp
Building configuration...
```



```
Current configuration : 84 bytes
!
!
!
snmp-server community user101 RW
snmp mib target list qwe host 0.0.0.0
!
end
```

その他の参考資料

次の項に、コンフィギュレーション パーティショニング機能に関する参考資料を示します。

関連マニュアル

関連項目	参照先
実行コンフィギュレーションのパフォーマンス拡張：インターフェイスの parser config cache	『 Configuration Generation Performance Enhancement 』
カスタマー サービスのプロビジョニング、コンフィギュレーション ロールバック、コンフィギュレーション ロッキング、およびコンフィギュレーション アクセス コントロール	『 Contextual Configuration Diff Utility 』
コンフィギュレーション管理：コンフィギュレーション変更およびロギング	『 Configuration Change Notification and Logging 』
コンフィギュレーション管理：コンフィギュレーション変更ロギングの簡易保存 ¹	『 Configuration Logger Persistency 』
Cisco IOS ソフトウェアのコンフィギュレーション アクセス コントロールおよびコンフィギュレーション セッション ロッキング（「コンフィギュレーションのロック」）	『 Exclusive Configuration Change Access and Access Session Locking 』

1. 「コンフィギュレーション ロガー永続性」機能を設定すると、スタートアップ コンフィギュレーション全体を保存するのではなく、最後の startup-config ファイルが生成された時点から入力されたコマンドだけを保存します。

規格

規格	タイトル
この機能に関連する規格はありません。	—

MIB

MIB	MIB リンク
この機能によってサポートされる新しい MIB または変更された MIB はありません。またこの機能による既存 MIB のサポートに変更はありません。	—

RFC

RFC	タイトル
この機能によりサポートされた新規 RFC または改訂 RFC はありません。またこの機能による既存 RFC のサポートに変更はありません。	—

シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
<p>右の URL にアクセスして、シスコのテクニカル サポートを最大限に活用してください。</p> <p>以下を含むさまざまな作業にこの Web サイトが役立ちます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • テクニカル サポートを受ける • ソフトウェアをダウンロードする • セキュリティの脆弱性を報告する、またはシスコ製品のセキュリティ問題に対する支援を受ける • ツールおよびリソースへアクセスする <ul style="list-style-type: none"> – Product Alert の受信登録 – Field Notice の受信登録 – Bug Toolkit を使用した既知の問題の検索 • Networking Professionals (NetPro) コミュニティで、技術関連のディスカッションに参加する • トレーニング リソースへアクセスする • TAC Case Collection ツールを使用して、ハードウェアや設定、パフォーマンスに関する一般的な問題をインタラクティブに特定および解決する <p>この Web サイト上のツールにアクセスする際は、Cisco.com のログイン ID およびパスワードが必要です。</p>	<p>http://www.cisco.com/en/US/support/index.html</p>

コマンド リファレンス

次に示すコマンドは、このモジュールに記載されている機能または機能群において、新たに導入または変更されたものです。これらのコマンドの詳細については、『Cisco IOS Configuration Fundamentals Command Reference』

(http://www.cisco.com/en/US/docs/ios/fundamentals/command/reference/cf_book.html) を参照してください。すべての Cisco IOS コマンドの詳細については、<http://tools.cisco.com/Support/CLILookup> にある Command Lookup Tool を使用するか、または『Cisco IOS Master Commands List』を参照してください。

- **parser config partition**
- **show running-config partition**

コンフィギュレーションパーティショニングの機能情報

表 1 に、この機能のリリース履歴を示します。

ご使用の Cisco IOS ソフトウェア リリースによっては、コマンドの中に一部使用できないものがあります。特定のコマンドのリリース情報については、コマンド リファレンス マニュアルを参照してください。



(注) 表 1 には、一連の Cisco IOS ソフトウェア リリースのうち、特定の機能が初めて導入された Cisco IOS ソフトウェア リリースだけが記載されています。特に明記していないかぎり、その Cisco IOS ソフトウェア リリース トレインの以降のリリースでもその機能はサポートされます。

表 1 コンフィギュレーションパーティショニングの機能情報

機能名	リリース	機能情報
コンフィギュレーションパーティショニング	12.2(33)SRB 12.2(33)SB 12.2(33)SXI	<p>コンフィギュレーションパーティショニング機能によって実行コンフィギュレーション状態をモジュール化（「パーティショニング」）して、Cisco IOS ソフトウェアで実行コンフィギュレーションに柔軟にアクセスできるようにします。この機能が搭載された Cisco IOS ソフトウェア イメージではデフォルトでオンになっています。</p> <p>12.2(33)SB では、この機能が Cisco 10000 シリーズに実装されました。</p> <p>この機能に関する詳細については、次の各項を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「コンフィギュレーションパーティショニングについて」 「コンフィギュレーションパーティショニング機能を使用するには」

Cisco and the Cisco Logo are trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the U.S. and other countries. A listing of Cisco's trademarks can be found at www.cisco.com/go/trademarks. Third party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1005R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

© 2003–2008 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

Copyright © 2003–2011, シスコシステムズ合同会社.
All rights reserved.

